



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 15日 日曜日	試合コード	#95
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	NOR	28	前半	33
15—18				
後半				
13—15				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7m c	—			
—	—			
—	—			
Norway (ノルウェー)				Russia (ロシア)

戦況	見出し	3位RUS、4位NOR
	前半	<p>3rd placeは、NORのスローオフで試合開始。RUSのDFは6-0システム。先制点は、NORの大型PVからのシュートが決まる。一方、RUSのDFも6-0システム。NORは、クロスプレーからRBのロングが決まり2点目。長身ながら俊敏な動きでCBからロングが決まり幸先の良いスタートのNOR。一方のROUはシュートチャンスは作るがゴールポストに嫌われる苦しいスタート。序盤、引き離したいNORに退場処分。ROUは1点を返し3対4の1点差。NORは力強いPVのシュートに対し、守り切れず7mTを与えRUS-No8がループシュートで加点する。中盤、DFが機能し始めるRUSはPVから連続で得点し、8対8の同点と振り出しとする。お互いに加点する展開で15分過ぎ、NORはタイムアウトを申請する。RUSは、流れるようなパス回しからCBからのシュートが決まりこの試合初めてのリード。GKの好守もあり連続得点をあげ2点差。驚異の身体能力を持つNo13のカットインシュートで3連続得点を挙げ12対9と3点差とする。引き離したいRUSは、LBからのステップシュートが決まり5連続得点。追いつきたいNORは、退場処分と7mTを獲得し、No10が技ありのループシュートと5人のDFに対し大きな展開からRWが決め2点差と追い上げる。NORはRUS-No13にマンツーマンDFでプレッシャーをかける。25分過ぎ、NORは7mTを獲得しNo10が確実に決め2点差。すぐさまRUS-No13が取り返し再び3点差。終盤、RUSは退場者を出す、互いに取り合いRUSが18対15の3点差で前半を折り返す。</p>
後半	<p>3点リードするRUSのスローオフで後半がスタート。追い上げるNORは、長身のCBが打点の高い強烈なロングシュートが決まり2点のビハインドとする。RUSはNo13からのPVへパスを通し加点。堅いDFから速攻で連続得点を奪う。その後RUS-No13がランニングシュートの得点で3連続得点。6分過ぎ、6点差をつけるRUSだがNORの3連続得点で3点差。追いつきたいNORは退場処分と7mTを与え、失点し4点差とビハインド。NORは再び7mTを与え、RUS-No13が素晴らしいテクニックで決め、この試合6得点目。13分過ぎ、互いに攻防を繰り広げ21対26と5点差が縮まらないNORはタイムアウトを申請。RUSはNo13からの展開でつなぎ、No36がRWから決め3連続得点。NORはLBを長身のNo25に代えキレのあるシュートを決める24対27の3点差に戻す。RUSは22分過ぎ、7mTを獲得し確実に決め4点差とするが、連続で退場者を出し4人でのDF。互いに得点を挙げ、31対27となったところでRUSの申請でタイムアウト。NORは、この退場のチャンスを活かさず4点差のまま苦しい終盤。27分過ぎ、NORは速攻でRW-No11の逆スピンシュートが決まり3点ビハインド。RUSは、28分22秒タイムアウトを申請。直後、LWからと得点し4点差。NORはGKをCPIに代えて7人攻撃するもエンブティゴールを決められ5点差。33対28でRUSが勝利をあげ3位が決まる。プレーヤーオブザマッチは、RUSのNo13 VYAKHIREVA Annaに贈られた。</p>	



戦況作成者

牧 均